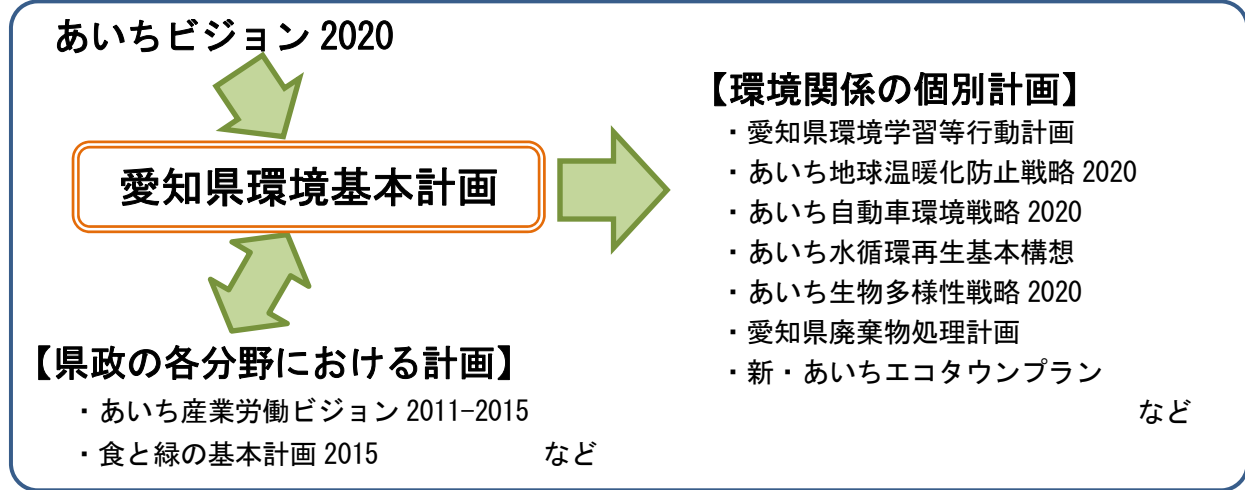


第4次愛知県環境基本計画について

目標の実現に向けた環境施策の展開イメージ

1 計画の位置付け

- 愛知県環境基本条例に基づき、環境の保全に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るために策定するもので、本県の環境政策の指針となるもの。
- 「あいちビジョン2020」に沿った環境政策の全体像を示す計画として、本県の環境関係の個別計画の上位計画として位置付け。
- 環境の視点を盛り込んだ県政の様々な分野における計画とも連携を図り、これらの計画と一体となって、環境施策を総合的かつ計画的に推進。



2 計画の期間

平成42年（2030年）における愛知の環境のあるべき姿を環境保全の長期目標とした上で、その実現に向けて平成32年度（2020年度）までに取り組むべき施策の方向を提示。

3 計画の目標

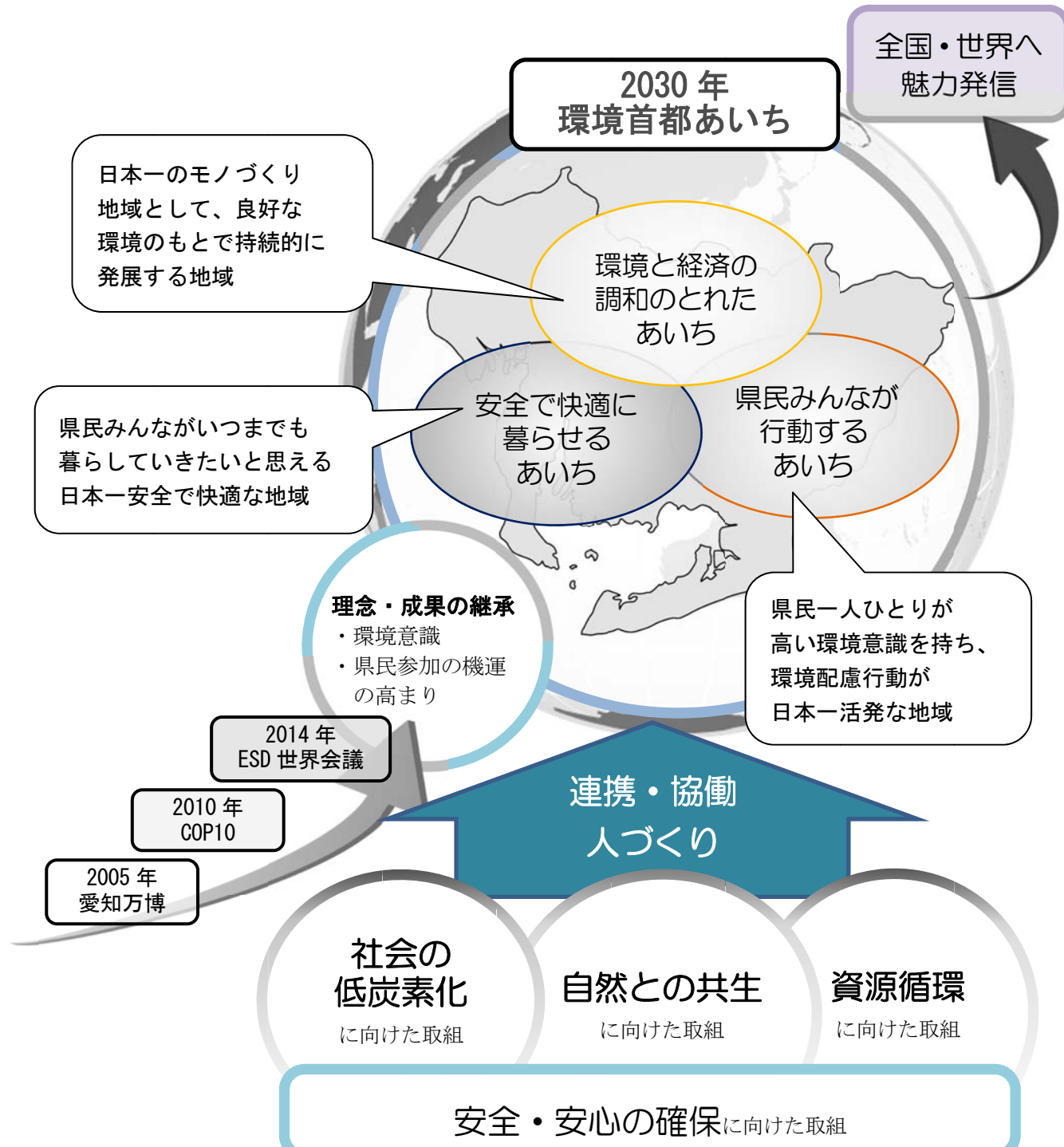
「環境と経済の調和のとれたあいち」、「安全で快適に暮らせるあいち」、「県民みんなが行動するあいち」の3つのあいちを基調とした地域づくりを進めることで、2030年に向けた本計画の目標として、「県民みんなで未来へつなぐ『環境首都あいち』」の実現を目指す。

4 2020年度までの環境施策の方向

3つのあいちについて、「安全・安心の確保」、「社会の低炭素化」、「自然との共生」及び「資源循環」に向けた4つの取組分野ごとに方向性を示し、具体的な取組を推進。総合的な施策推進に向けて、持続可能な未来のあいちの担い手育成「人づくり」を推進。

5 計画の推進

県民、事業者、NPO、行政等の各主体と連携、協働しながら、計画の目標実現に向け、各種施策・取組を推進。



2030年の「環境首都あいち」では・・・

- ◆ 暮らし・地域・経済活動などあらゆる場面において、環境に配慮した行動が、意識しなくても自然になされています。
- ◆ その結果、安全で快適な暮らしが確保されるとともに、環境と経済が高い水準で良好な状態に保たれた、魅力のある地域となっています。
- ◆ その魅力を、国内のみならず世界へと発信することにより、より多くの人や企業をこの地域へとひきつけます。

6 施策展開における「主要目標」について

平成 32 年度（2020 年度）を計画期間の一つの到達点とし、基本的な数値目標を本計画の「主要目標」として位置付け。

第 4 次愛知県環境基本計画 主要目標の進捗状況（平成 27 年度）

●安全・安心の確保

項目 (主な非達成項目)		進捗状況		目標	
		計画策定時 ※1	現状		
環境基準 の達成状況 ※2	大気汚染	光化学オキシダント	達成率 0% (平成 24 年度)	達成率 0% (平成 27 年度)	全項目及び 全地点での達成
		微小粒子状物質	達成率 32% (平成 24 年度)	達成率 87% (平成 27 年度)	
	公共用水域 の水質汚濁	河川の BOD	達成率 98% (平成 24 年度)	達成率 98% (平成 27 年度)	
		海域の COD	達成率 55% (平成 24 年度)	達成率 64% (平成 27 年度)	
		全窒素	達成率 83% (平成 24 年度)	達成率 83% (平成 27 年度)	
		全燐	達成率 50% (平成 24 年度)	達成率 67% (平成 27 年度)	
	ダイオキシン類	公共用水域の水質	達成率 96% (平成 24 年度)	達成率 90% (平成 27 年度)	

●社会の低炭素化

項目	進捗状況		目標
	計画策定時 ※1	現状	
次世代自動車等先進エコカーの県内普及台数	60 万台 (平成 23 年度末)	125 万台 (平成 26 年度末)	200 万台
次世代自動車充電インフラの整備状況	661 基 (平成 24 年度末)	1,655 基 (平成 27 年度末)	1,600 基

●自然との共生

項目	進捗状況		目標	
	計画策定時 ※1	現状		
優れた自然環境を有する地域の面積等	①自然環境保全地域の指定	①15 か所 (平成 24 年度)	①15 か所 (平成 27 年度)	①18 か所 (平成 28 年度) ※3
	②鳥獣保護区 の面積	②25,555ha (平成 24 年度)	②▲290ha (平成 27 年度)	②現状維持 (平成 32 年度)
	③生息地等保護区 の指定	③2 か所 (平成 24 年度)	③4 か所 (平成 27 年度)	③4 か所 (平成 28 年度) ※3
指定希少野生動植物種の指定	11 種 (平成 24 年度)	15 種 (平成 27 年度)	17 種 (平成 28 年度) ※3	
県民の「生物多様性」という言葉の 認識状況	46.7% (平成 24 年度)	-	75%	

●資源循環

項目		進捗状況		目標
		計画策定時 ※1	現状	
廃棄物の排出量 ※4	一般廃棄物	280.1 万トン (平成 20 年度)	255.1 万トン (平成 26 年度)	254.1 万トン (平成 28 年度) ※3
	産業廃棄物	1,641.8 万トン (平成 20 年度)	1,524.9 万トン (平成 26 年度)	1,545.3 万トン (平成 28 年度) ※3
廃棄物の再生利用率 ※5	一般廃棄物	22.8% (平成 20 年度)	22.3% (平成 26 年度)	25.9% (平成 28 年度) ※3
	産業廃棄物	63.1% (平成 20 年度)	70.4% (平成 26 年度)	67.6% (平成 28 年度) ※3
廃棄物の最終処分量	一般廃棄物	29.8 万トン (平成 20 年度)	21.3 万トン (平成 26 年度)	23 万トン (平成 28 年度) ※3
	産業廃棄物	116.2 万トン (平成 20 年度)	89.6 万トン (平成 26 年度)	95.4 万トン (平成 28 年度) ※3

※1 各数値目標を設定した際の現況数値を指す。

※2 環境基本法等により規定される環境基準を指す。

※3 29 年度以降については、各個別計画において、新たな目標を設定する。

※4 排出量＝再生利用量＋中間処理による減量＋最終処分量

※5 再生利用率＝再生利用量/排出量

第4次愛知県環境基本計画の推進に関する事業体系（平成29年度）〈愛知県〉

		3つのあいち		
		環境と経済の調和のとれたあいち	安全で快適に暮らせるあいち	県民みんなが行動するあいち
取 組 分 野	安全・安心の確保	■事業者による自発的・積極的な環境負荷の低減 ・環境マネジメントシステム推進 ・中小企業金融対策貸付金（経済環境適応資金貸付金） ・環境影響評価 など14事業（5課） ■化学物質の自主的な管理 ・特定化学物質対策促進事業 ・揮発性有機化合物削減対策推進 ・有害大気汚染物質等調査 3事業（2課）	■健康で安全な暮らしができる環境の確保 ・大気汚染規制指導 ・水質汚濁規制指導 ・自動車排出ガス規制 など46事業（10課室） ■非常時の環境汚染に対する体制の構築 ・大気汚染監視施設運営・整備 ・水質汚濁監視施設運営 ・災害廃棄物処理計画検討調査 など10事業（4課）	■身近な環境における気づきと行動の促進 ・地域環境保全委員活動 ・生活排水対策 ・環境保全普及推進 3事業（3課） ■環境学習の総合的な推進 ・インタープリター自然体感推進事業 ・あいち環境学習プラザ事業 ・高校生環境学習推進事業 など8事業（2課）
	社会の低炭素化	■事業活動に伴う温室効果ガス排出量の抑制 ・あいち地球温暖化防止戦略推進 ・中小企業温暖化対策アドバイザー事業 ・自動車環境戦略推進 ・低炭素水素サプライチェーン事業化推進 ・県有施設におけるLED照明の整備 など13事業（6課室） ■社会の低炭素化に貢献する製品製造と新たな環境産業の創出 ・循環型社会形成推進事業費補助金 ・新エネルギー実証研究エリア管理運営事業 ・産業空洞化対策減税基金事業 ・水素エネルギー産業社会形成パイロット事業 など8事業（3課）	■再生可能エネルギーの利用促進によるエネルギーの地産地消 ・住宅用地球温暖化対策設備導入促進費補助 ・流域下水道事業 ・小水力等発電施設整備事業 など5事業（3課室） ■環境と自動車利用の調和した社会の実現 ・自動車環境戦略推進 ・次世代自動車普及促進事業 ・低公害車導入促進費補助 など7事業（2課室） ■環境負荷の少ない快適な都市・地域基盤づくり ・水環境整備事業 ・あいち森と緑づくり事業（都市緑化推進事業） など6事業（4課）	■社会の低炭素化へ向けた意識とライフスタイルの変革 ・温暖化防止県民運動推進事業 ・あいち地球温暖化防止戦略推進 ・あいち低炭素社会づくり戦略（仮称）策定 ・木材利用促進事業 など6事業（2課室） ■環境負荷の少ない商品やサービスの購入の促進 ・環境マネジメントシステム推進（グリーン購入） ・エコモビリティライフ推進 ・地産地消推進 ・食育推進 など6事業（5課）
	自然との共生	■生物多様性の保全と開発・事業活動との調和 ・あいち生物多様性戦略推進 ・自然環境保全調整 ・自然共生社会推進 ・環境影響評価 ・あいち森と緑づくり事業（森林整備事業） ・環境保全型農業推進 など7事業（4課）	■生態系ネットワークの形成を意識した自然環境の保全 ・鳥獣保護・増殖事業 ・愛知目標達成に向けた国際先進広域自治体連合協働事業 ・希少野生動植物保全対策 など19事業（3課室） ■恵み豊かな伊勢湾・三河湾の環境の保全・再生 ・三河湾環境再生推進 ・海域環境創造事業（覆砂） ・流域下水道建設事業 など16事業（7課）	■生物多様性の価値（自然の恵み）への理解と保全に向けた実践行動の促進 ・あいち森と緑づくり事業（環境活動・学習推進事業） ・伊良湖公園施設整備 ・海上の森保全活用推進事業 など10事業（4課室） ■健全な水循環の再生に向けた実践行動の促進 ・健全な水循環機能再生推進 ・生活排水対策 など6事業（4課）
	資源循環	■廃棄物などの未利用資源を地域内で循環させる循環ビジネスの活性化 ・資源循環高度化計画（仮称）推進事業 ・循環型社会形成推進事業費補助金 ・建設環境事業（リサイクル推進） など4事業（2課） ■事業活動に伴う廃棄物の削減 ・廃棄物処理計画推進 ・環境マネジメントシステム推進（エコスタンダード） ・再生資源活用審査事業 など5事業（2課）	■廃棄物の適正な処理と3Rの促進に向けた体制整備 ・廃棄物処理施設指導監督 ・一般廃棄物処理施設等指導 ・広域最終処分場運営推進 など7事業（2課） ■廃棄物の不法投棄などの不適正処理の未然防止 ・産業廃棄物規制指導 ・産業廃棄物処理業等許可申請指導 ・産業廃棄物適正処理対策事業 など14事業（2課）	■ごみの発生抑制・再使用を意識したライフスタイルへの変革 ・ごみ減量化対策 ・資源循環高度化計画（仮称）推進事業（資源循環情報システム） など5事業（2課） ■地域に根ざした環境美化活動への参加 ・海岸漂着物等地域対策推進事業 ・河川環境対策事業 ・海岸愛護 3事業（2課）
総合的な施策推進に向けて		■「人づくり」の推進 ・持続可能な未来のあいちの担い手育成事業 ・エコアクション推進フェア開催 ・東三河自然再生推進 ・海上の森保全活用推進事業 ・あいちエコアクションウェブサイト運営 ・環境学習支援事業 ・資源循環高度化計画（仮称）推進事業（あいち環境塾） ・ユネスコスクール活性化事業 など22事業（8課室）		

※事業数は再掲を含む。